

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町1F)

TEL.054-252-2418

FAX.054-252-2430

発行人 林 紀明

第五十二回通常総代会の開催

平成二十七年年度の通常総代会は、五月二十七日静岡市内のクイポール会館において開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓、八十一名の出席のもと、十三時に松下常任理事の開会の辞に始まり、熱心かつ真剣な審議がなされた。

会議の冒頭、林理事長は挨拶に立ち、我が国の景気は、このところ全体的に落ち着いた動きにあり、ようやく消費税の増税に伴う、様々な影響から脱しようとしている。

今後は中国・韓国等輸出入に関連した国際経済情勢に一部先行き不安は残るものの各種金融政策の効果などを背景に景気は全体的に回復に向かっていると説明したうえで、

建築板金業界は、依然として受注機会の減少や、施工単価の低落傾向、更には高齢化と後継者不足、消費税増税及び資材価格の高騰など、厳しい状況が続いているため、組織を見直し、新たな地域の組合員の掘り起しや長年に亘り培われた組合員相互の連携、協調、団結を一層強固なものとして、

この時勢に対処していく必要があると痛切に感じていると感想を述べ、今後は、業界の動きや社会情勢の変化にさらに敏感になり、その変化に対応できる技術、技能の習得に努め、更には、仕事を取するための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、今までは違う意識で行動することが求められるとの見解を述べた。

また、解決すべき喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があること、今後の組合や、この業界を担っていく青年部に対して、親組合として従来に増して連携、支援を強化していく必要があることなどを出席者に訴えた。

続いて、議事の審議に入り議長に、長谷川敏男氏（小笠支部）、大石光夫氏（中遠支部）が選任された。

提案された第一号議案（二十六年事業報告）については、松浦副理事長が説明され、続いて第二号議案（二十六年度会計決算関係）は、佐藤主任会計、伏見会計理事、鈴木会計理事から説明が

なされ、また、志村監事から監査報告がなされ承認された。次に第三号議案（二十七年度事業計画案）については、林理事長が説明し、第四号議案（二十七年度予算案）については、佐藤主任会計が説明して承認された。次に第五号議案（借入金最高限度額及び取引金融機関の決定）を林理事長が説明し、承認された。

次に第六号議案（役員改選の件）については、選考委員による指名推薦により役員改選が行われ、理事長林紀明が再任となった。

その他、重杉常任理事が退任となり、後任に横山文明氏が就任した。これらの役員改選結果については、その全容を後日組合員に知らしめることとし十四時二十分野村副理事長の閉会の辞で閉会となった。

この後、懇親会が開催され来賓の協力店等の皆さんを交え、昨今の経済情勢や業界情報が熱心に語られていた。

また、ご多忙のところご臨席を賜りました、ご来賓の皆様方には心からお礼を申し上げます。

さて、我が国の景気は、このところ円安傾向が安定的に推移し株価も高値安定を維持するなど、全体的に落ち着いた動きにあり、ようやく消費税の増税に伴う様々な影響から脱しようとしています。

今後は、中国・韓国等輸出入に関連した国際経済情勢に一部先行き不安は残るものの各種金融政策の効果などを背景に景気は全体的に回復に向かっているといわれています。

また、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があります。今後の組合組織や、この業界を担っていく青年部に対して、今までは親組合としての連携、支援を強化していく必要があると思っております。

各位におかれては、従来に増して青年部活動への理解、協力及び指導を宜しくお願い申し上げます。

結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く社会経済環境は一段と厳しい状況にありますこ

とから、引き続き、組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えなければなりませんので、ご臨席のご来賓の皆様には、これまでに増してのご理解とご支援をお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

第五十一回通常総代会挨拶
理事長 林 紀明
本日、ここに第五十一回通常総代会を開催いた



状況が続いています。こうした時こそ、組織を見直し、新たな地域の組合員の掘り起しや長年に亘り培われた組合員相互の連携、協調、団結を一層強固なものとして、この時勢に対処していく必要があると痛切に思います。

そのためには、自分を取り巻く業界の動きや社会情勢の変化に常に留意しながら、その変化に対応できる技術、技能の習得に努め、更には、仕事を取るための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、今までは違う意識で行動することが求められると思

また、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があります。今後の組合組織や、この業界を担っていく青年部に対して、今までは親組合としての連携、支援を強化していく必要があると思っております。

各位におかれては、従来に増して青年部活動への理解、協力及び指導を宜しくお願い申し上げます。

結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く社会経済環境は一段と厳しい状況にありますこ

とから、引き続き、組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えなければなりませんので、ご臨席のご来賓の皆様には、これまでに増してのご理解とご支援をお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

第五十一回通常総代会挨拶
理事長 林 紀明
本日、ここに第五十一回通常総代会を開催いた

通常総代会において、静岡県板金工業組合の役員として引き続き6年以上組合発展のため取り組まれ退任された井上博幸（前理事長）他一名及び多年にわたり事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された八名の皆さんに、林理事長から表彰状と記念品が授与された。

表彰状等の授与
通常総代会において、静岡県板金工業組合の役員として引き続き6年以上組合発展のため取り組まれ退任された井上博幸（前理事長）他一名及び多年にわたり事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された八名の皆さんに、林理事長から表彰状と記念品が授与された。

退任役員表彰
井上 博幸（前理事長）
重杉 甫（常任理事）
敬称略



県板功劳表彰

三島支部	大川 雅義
御殿場支部	湯川 晶司
同	佐藤 浩幸
富士支部	野村 春彦
清水支部	狩野 真
同	酒井 一
静岡支部	中野 勝生
焼津支部	松下 佳通

(敬称略)



県板団体保険感謝状

多年にわたり団体保険に加入いただき、組合の共済事業への協力に感謝し、次の二名の皆さんに林理事長から感謝状と記念品が授与された。

御殿場支部 佐藤 正守
清水支部 望月 初男

(敬称略)

全板連大分府大会

五十五名参加

県板事務局



を含め五十五名が参加した。

本県は中部ブロック七県の中で最高の参加人員だった。

大会では、「地方の活力は建築板金業から！組織力で建設業界をリードしよう！」を総合テーマに、目標として「登録基幹技能者の配置義務化と正当な評価を獲得しよう」、「非組合員の加入促進と社会保険加入促進を図ろう」、「責任施工保証制度で業界の信用を確固たるものにしよう」、「指定商品は全ての組合員が積極的に活用しよう」、「業界の国保・

第六十七回全国建築板金業者大会が、五月二十一日(木)大分県別府市の「別府ビーコンプラザ」で開催され、全国から約三千名余の同業者が参加し、本県からは事務局長

の組合員が積極的に活用しよう」、「業界の国保・

全板連

九州大分大会

参加報告

厚生労働委員長
野村和稔

年金基金で福利厚生を充実させよう」、「次世代の更なる飛躍のために後継者の育成強化を図ろう」などが大会宣言として、力強く宣言された。

また、大会の表彰式では、本県から小笠支部の中山正健氏と静岡支部の山本泰義氏が功労章を受賞された。

厚生労働委員会の最大の行事は何と言っても全板大会に向けての事前会議から幕が上がる。それは、一昨年の千葉大会が終了した時点で、次の大分大会に向けての下準備が粛々と進められるのである。

厚生労働委員会、常任理事会、三役会を経て旅行業者の選定に入り、三社から見積もりを取り寄せ業者一社を絞り込むのである。

今年の大会は、精査の結果、静鉄観光サービス(株)に決定した。

委員会としては、如何に楽しい旅や宴会ができるのか工夫を凝らし取引商社の支援も頂きながらであったが、かなりのエネルギーが必要であった。

大会間際まで人員の増減で一喜一憂したが、参加人員が決定されると宿泊先の部屋割りも参加者の意にならぬよう最大の配慮をしながら最大規模の計画に沿って楽しく実行するのみである。

委員長としても最後まで事故の無い旅を念頭に置き、厚生労働委員会の北村、中村両部長の最大限の協力を願った。

出発当日は天候に恵まれ、三島を出発した「こだま号」が西に向かい順次、各駅で組合員を拾いながら名古屋に向かった。

早くも車内では話に花が咲き、仲間と益を重ねる光景が見られた。

名古屋で、待望の「のぞみ号」に乗り換え指定席に陣取って、博多まで

の旅を楽しんだ。三時頃博多に到着し、バス二台に分乗して新緑の九重夢の大吊り橋に向かった。

静岡からの出発時間の突然の変更で、博多への到着が一時間半ほど遅れ、九重夢の大吊り橋を渡る時間が取れず、見学のみになってしまったことは、誠に残念で皆様の期待を裏切ったことは申し訳なく思う次第である。

旅行社側の時間的配慮が甘かったと反省している。

九重を後に夕日に染まった茜雲の由布岳を眺めながら湯布院温泉「ゆふいん山水館」に到着したのち旅の荷を解き、泉質の素晴らしい湯布院温泉に浸かり旅の疲れを癒し、心身ともに爽やかにになり宴席についた。

地酒で乾杯し地の食材に舌づつみをうつつが保養地である湯布院は男性が期待する賑やかな夜の店もなくちよつとがっかりした御仁もあったと思う。翌日も天気は恵まれ、山並みを眺め草原の風を肌を感じながら大会会場の別府「ビーコンプラザ」に向かう。

大会会場には定刻通り九時少し過ぎに到着し静岡県板指定の最前列に陣取る。

十時に大会が始まり表彰式では、山本泰義氏及び中山正健氏の両名が栄えある全板表彰の受章となった。

やがて、壇上の林理事長の紹介と本県の参加人員が報告されると割れんばかりの雄叫びが、会場を揺るがせた。林理事長にとっては感無量の思いではなからうか。

式典が終了し、大会宣言が読み上げられ大分大会の幕が下ろされた。

一同は、展示会場に足を運び、三々五々買い物を楽しみ、展示物に目を通し、次なる仕事の参考にしていた。

参加できなかった方々には申し訳ないが、この三日間は貴重な体験と受け止めた。

会場を発ったバスは、一路博多に向かい夕闇せまる博多湾を眺めながら繁華街に入る、今宵の宴は、博多では有名な料亭「稚加菜」である。

林理事長も加わり盛大な宴が始まる。ここでもまた、北村、中村両部長が宴を盛り上げる企画を披露し、大満足の宴会となった。委員長としては皆さんと共に両部長に感謝する次第だ。

夜は賑やかな中洲の街

に繰り出した組合員も多かったようだ。翌朝、祇園山笠で有名な「柳田神社」に参拝する。早朝にもかかわらず大勢の参拝者が、神殿に額つき祈りを捧げる姿は、崇高な気持ちが伝わってきた。

お参りできてよかったと思う。

ホテルを発ったバスは、関門海峡を渡り下関に到着、源平最後の戦い、壇ノ浦合戦の一説が、耳なし芳一の琵琶の音のつて聞こえてくるようだ。

赤間神社を参拝し、安徳天皇の御霊に静かに祈りを捧げた。

唐戸市場はとても良かった。トロの握りを食べた者も、たくさんの土産を買い求め、宅急便で送った人も多かったように思う、火の山展望台で、食事をとり、眼下に関門海峡を行く船を眺めながら、巖流島を望みシャッターを切った。思い出の一枚にしたい。

旅に出る前の期待と夢を胸に、旅の終わりに郷愁を感じ、また、来年の京都大会に夢を託し厚生労働委員長の大会大会参加報告とする。

結びに、組合員各位に心より感謝を述べる次第である。

全板連九州大分大会 に参加して

小笠支部 中山正健



この度、第六十七回全国建築板金業者大分大会において功労表彰をいただきました。

県板に入会いたしました四十一年が経ちますが、このような表彰を頂いたことは身に余る光栄と感謝申し上げます。

今日まで、組合の諸先輩方にご指導頂きながら各種の資格を取得することができましたこと心から感謝申し上げます。

また、組合の役員をさせて頂いたおかげで他支部の多くの組合員の方々と知り合い友好関係を築いていただきながら現場での新施工方法、適切な施工単価等々多くのことについて親しく語り合い勉強させて頂きました。

今後は少子高齢化が進展し、住宅環境は大変厳しい時代となって来ることと思われれます。

これらを背景に組合員の減少、後継者不足が益々進展することはやむを得ませんが、私どもが取得した技術を後世に伝えて行くことは板金業界に大きな役割を果たすことだと考えております。

従いまして、この度の受章を機にお世話になっている板金組合及び板金業界の発展の為に微力ではありますが、誠心誠意、尽力いたす所存で有りませす。皆様ありがとうございます。

技能検定実技試験講習会

県板事務局

二十七年技能検定実技試験に向けて、実技講習会が、六月六日(土)、六月七日(日)、の二日間ポリテクセンター静岡で開催された。



今年度の受講者は、一級二十三名、二級三名の

計二十六名で、昨年より九名増加した。

指導に当たった十一名の技術検定委員及び補佐員からは、受講者の真面目な態度、熱心さを評価する声が多く、緊張感溢れる講習会となった。

松浦委員長からも、時間内に全員仕上げまで行き、まあまあ安堵したが、本番は時間との戦いだ。との講評があり、委員の間からは、今後、東中西の各地区で更に講習会を行う必要性が確認された。

これを受けて、各地区委員は六月下旬から七月上旬にかけて臨時の実技講習会を開催した。

理事長及び技術検定委員長は、七月十四日の実技試験本番には、全員が努力の成果を遺憾なく発揮して、良い結果が得られることを期待するとコメントした。

なお、職能協が主催する技能検定実技試験は、予定通り七月十四日(火)に実施され三十名が受験した。

今後は、八月二十日(木)、二十一日(金)に学科講習会が開催される見込みである。

部から挑んでくれてい



七月十四日の実技試験でも、元気に精一杯取り組んでいました。

組合としては、この女性を含め全員が合格してくれることを期待します。

技能競技大会の開催

技術検定委員長 松浦 源

今年度の技能競技大会は、十月四日(日)にポリテクセンター静岡で開催される。

課題作品については、Aコースは「ちりとおり」で昨年と同じだが、Bコースは、「飾枱六角落」から来年の全国大会の課題とされる「アンテイク風如雨露」に変更することとなった。

競技大会参加者を対象とした事前講習会は、九月二十日(日)ポリテクセンター静岡で実施される。入賞者は県知事等から

表彰され、またBコース優秀者二名は、二十八年二月下旬に富士宮市で開催される全国大会へ出場することとなる。

技術検定委員会では現在、七月末日を期限として参加者を募集しているが、多数の後継者や従業員が参加し技能を競うことが業界全体のレベルアップに繋がると期待している。

今年度のBコースのテーマである如雨露の展開図等詳細図面は難しく、技術検定委員長が主体となって、検討を重ねている。

WAZAチャレンジ教室

小笠支部長 長谷川敏男

五月十五日、小笠岳洋中学校においてWAZAチャレンジ教室を行いました。

参加した生徒は男子生徒十二名、女子生徒八名の計二十名で、昨年に比べて三名増えておりますが、女子生徒が五名も増えて驚きました。

私達指導員は八名で午後一時から四時まで三時間の指導を行いました。外国人の教師も参加する中、自分たちも生徒と同じように作業しながら説明を加え、二十名全員が時間内に作業を修了する

ことができました。



今年は多く参加してくれた女子生徒には銅板へラだしの楽しさを校内に広げていただき、来年度も是非、多数が参加していただきたいものです。

参加していただいた支部指導員の皆様ありがとうございました。

トピックス

ボランティア活動 に参加して

西遠支部長 佐藤隆則

西遠支部は昨年、天竜区二俣のNPO法人「作業所 せきれい」の修理を三月下旬に行いました。今年度は約二か月遅れで、五月二十四日の日曜日に船明運動公園や二俣駅、二俣本町駅等の公衆トイレや「あずまや」SL格納庫など七か所の修理・清掃を行いました。集合は天竜二俣駅九時、

簡単な工具と修理材料、清掃用具を持参しての参加です。

支部十四名中十三名が参加してのボランティアですが、昨年の「せきれい」など西遠支部が例年、使命として全員で行っている大切な活動です。

動き回って、爽やかに汗をかき、軽トラク一車分のごみが出ましたが、午前十一時三十分やりのある仕事を終え、すがすがしい気分が家路につきましました。



国内最大級
『太陽光発電の比較展示場』
NEW!!
第1展示場 + 第2展示場 + 第3展示場
(2015年5月) II リニューアル
約 150kW システム オープン
株式会社 植松
沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555

厚生労務委員会を開催

厚生労務委員会が、6月19日(金)に静岡労政会館で開催され、林理事長、野村委員長を始め18名の委員が出席し、安全パトロールの実施他労働災害防止対策等について現場からの視点で幅広い問題について熱心な討議が行われた。

1. 安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会事業の安全パトロールについては、昨年に引続き東中西の各4地区で実施することとし、実施時期は例年通り10月頃を予定したいとされた。

パトロール実施効果を考えると、県板金のみのパトロールでは、指導効果に疑問があるため、昨年の東部地区同様パトロール実施区域を所管する労基署との合同パトロールとしたらどうかとの意見が出された。

後日、事務局において県防災に確認した結果、合同パトロールについての労基署との調整は実施各支部で直接調整願いたいとの見解が改めて示された。

2. 労働災害防止対策

北村部会長から建設業における労働災害防止対策につき労働局から緊急要請などがあり、死亡事故については建築工事現場等での墜落・転落災害が最も多い点、安全帯を付けていないケースを多く見かけるが、仕事がやりにくくても、ヘルメットと安全帯は必ず着用し、自分の身は自分で守るよう心掛けることなど安全作業に関するリーフレットに基づく説明があり、労働安全基準局の安全パトロールにおける指導も大変厳しくなっているのので留意する必要があることなどを再確認した。

3. 熱中症の予防

中村部会長から昨年は多くの熱中症が発症しており、昨年と比べればやや短いものの今年も、7月から8月の高温多湿な時期が長く続くこと、猛暑日も多いことが予想されることから、個人差があるとは言え、屋外作業に従事する組合員にとって、万全の予防措置が必要であり、作業の前後・作業中の水分・塩分の摂取、こまめな休息、涼しい休憩場所の確保、通気性の良い服装・帽子の着用などが求められるなどについて口頭で注意喚起がなされ、その他、起床後にコップ一杯の常温の水を飲むことや、睡眠不足にならないこと等の実例が紹介された。

4. 全板連全国大会

大分別府大会について、55名の参加者の状況、経費の精算について事務局から報告があり委員の了承を得た。また、次年度開催される予定の第68回京都大会への参加予定日程及び観光希望箇所等について6月末に各支部の希望をとり、7月下旬に常任理事会を招集して調整を図ることとした。

5. 全板連から開催の呼びかけの有った「ミドリ安全講習会」及び「足場の組み立て特別教育に伴う講習会」の開催についても上記常任理事会において調整を図ることとした。



清水支部
「益総会」
清水支部長 伏見一雄

七月十五日 清水サンルートホテルにて、来賓二十六名・組合員及び青年部三十八名合計六十四名参加の下、恒例の清水支部の益総会を盛大に開催しました。

新総務委員に抜擢された司会の坂本一勇賀君からの若さと活力ある挨拶を皮切りに支部長(伏見)からは、これまでの組合組織に未来を見据えた役員交代の説明をさせて頂き、この益総会が初公開

となる新役員は半数を若い世代で固め、「今後の組合活動に良い変化が現れることを期待している。」に加えて、「熟年組合員の皆様には大きな力添えも合わせてお願い致します。」と協力を要請しました。本会には県板副理事長松浦様、環境大臣衆議院議員望月義男様秘書、静岡県議会議員、静岡市議会議員の皆様にご出席いただき、皆様からご挨拶を頂きました。

長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・エア工具販売
住まい造りのおてつだい

萩原スチール株式会社

お気軽にお問合せ下さい

本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700

KMEW
モダンな外観に映える、
スパンドレル調デザイン。
スマートスパン柄

シャープなラインが魅力のスマートスパン柄が、新登場。
フッ素焼付塗装で施工時の美しさが長持ちします。

金鋼サイディング
はる一番

ケイミュー株式会社 静岡営業所 〒420-0803 静岡市駿河区千代田7-10-30 TEL.054-261-0338

金鋼定尺横貫屋根
S&Sルーフ Simple and Safety

自由な施工性

「書き方向」&「重ね代」を自由に
決められるため、廃材の削減に
つながります!

株式会社 セキノ興産
浜松店 ☎053-440-3940
富士店 ☎0546-37-0718

トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折板構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

鉄板用ビスの御用は
ドリルビス・コースレッド・ALCOドライブ・ルーフボルト・各種
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

欲しい物がここにある
鉄鋼二次製品/銅・アルミ・ステンレス/化学製品
機械工具/住宅設備機器/エンジン発電機・溶接機
さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644
ホームページアドレス http://www.nishikawakouhan.com/

嵌合瓦棒 H40-I型
～優雅な新しい丸嵌合式屋根～
キャップ部分が本体と一体になったことで、
施工の工期短縮、経済性にすぐれた効果を発揮します。

セルフドリルビス 5x45

コロナル屋根リフォーム専用金属屋根材
カバーベスト® 横貫構造 PVロック® 見積積算ソフト
対色色 ヨドコウ 筋・バリアカラーGL・ハイブリットカラーGL
日新製鋼 月星スワンカラー

屋根に穴をあけない
ソーラーパネル取付金具
PVロック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ
総発売元 西川鋼販株式会社
詳しくは当社ホームページでご確認ください。

株式会社 小池弥太郎商店
本社・本社工場/〒420-0922 静岡市駿河区流通センター16番
TEL(054)263-2280代 FAX(054)263-6163
藤枝支店/〒426-0041 藤枝市高柳2149-1
TEL(054)636-4040代 FAX(054)636-2911
牧之原工場/〒421-0412 牧之原市坂部110-7
TEL(0548)25-3975代 FAX(0548)25-3977
東京事務所/〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28
エクセル神田 5B
TEL(03)5297-4840 FAX(03)5297-4845
E-mail : info@koike-s.jp http://www.koike-s.jp